

SA-DK5-ESR セットアップガイド

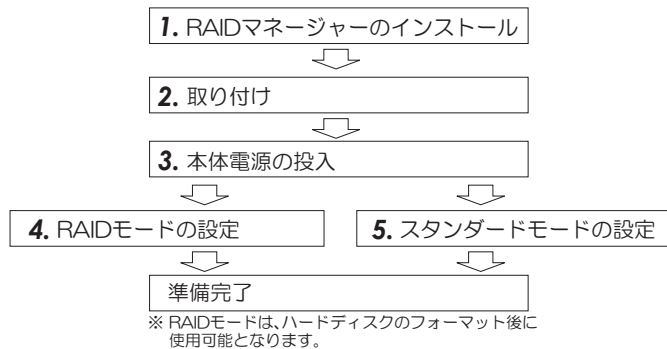
2010年4月 第2.0版

RATOC Systems, Inc.



※本文中の画面例は、Windows 7またはMac OS 10.4.11です。その他OSでは画面が若干異なりますのでご了承ください。
 ※記載している内容は、本紙制作時のものです。フォルダ名、ファイル名、画面などが変更されている場合があります。予めご了承ください。
 ※本紙ではハードディスクをHDと略することがあります。ご了承ください。

セットアップの流れ



- (参照) 6. パソコン使用中のトレイ交換 (RAIDモードの場合)
 7. パソコン使用中のトレイ交換 (スタンダードモードの場合)
 RAIDマネージャのアンインストール

1. RAIDマネージャのインストール

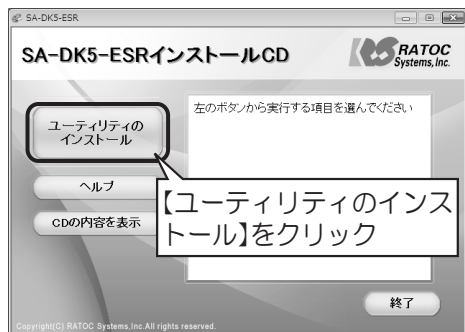
本製品をRAIDモードで使用する場合、必ずインストールしてください。

- 1-1. パソコンを起動します。
 ※Windowsの場合、Administrator(管理者)権限でログインします。

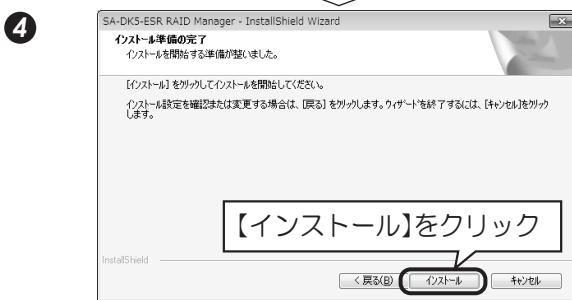
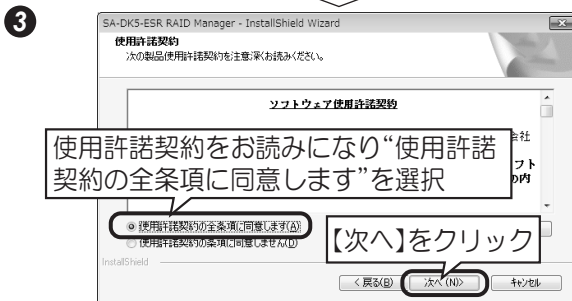
- 1-2. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入します。

Windowsの場合

- 1 メニュー画面が表示されます。



※自動的に表示されない場合は、【コンピューター(またはマイコンピュータ)】の【CDドライブ】を開き、【autorun.exe】をダブルクリックしてください。
 ※Windows 7/Vistaの場合、「自動再生」画面が表示されたら、【autorun.exeの実行】をクリックしてください。また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、【はい】または【許可】をクリックしてください。



- 5 インストールが完了しました。【完了】をクリックします。

- 6 インストールが完了すると、RAIDマネージャが起動しますので、一旦終了し、2. 取り付けへ進んでください。

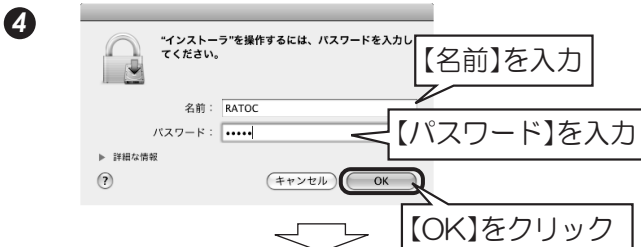
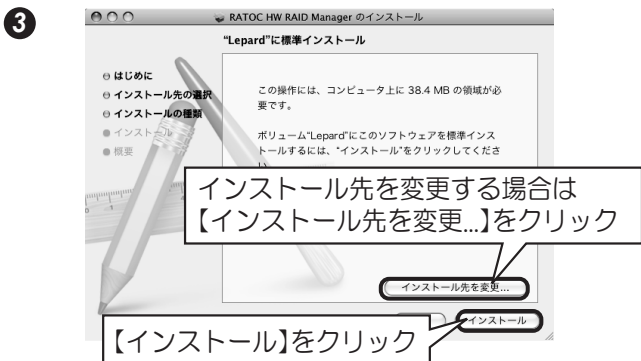


Mac OSの場合

- 1 製品添付のCD-ROMの【Utility】フォルダーの中の【RATOC HW RAID Manager.dmg】をダブルクリックします。

- 2 次の画面が表示されます。





5 インストールが完了しました。【閉じる】をクリックします。
2. 取り付けへ進んでください。

2. 取り付け

2-1. トレイ取り外し用ハンドルを持ち、“交換用トレイ”を矢印の方向へ引き出してください。



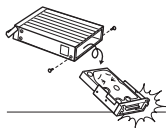
注意

トレイ取り外し用ハンドルは、ハンドル部分のみを持って持ち運びをしないでください。トレイが落下する恐れがあります。

2-2. SATAハードディスクをトレイに取り付けます。

注意

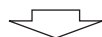
- ネジ止めやネジ外しをおこなう際に、スリーブからハードディスク/SSDを装着したユニットが滑り出る恐れがあります。落とさないようご注意ください。
- ハードディスク/SSDの取り付け・取り外し作業は、平らな場所に本製品を置いて作業してください。



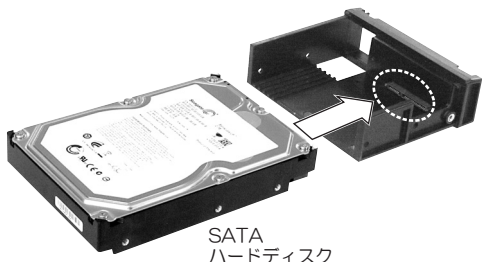
1 スリーブ後方の2箇所のネジを外します。



2 HDマウントユニットを取り外します。

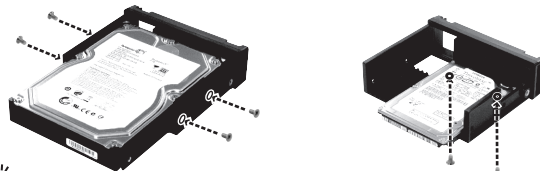


3 HDマウントユニットのコネクタとハードディスクを接続します。

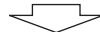


4 ハードディスクを同梱のネジでしっかりと止めます。

3.5インチ ハードディスクの場合 2.5インチ ハードディスク/SSDの場合

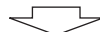
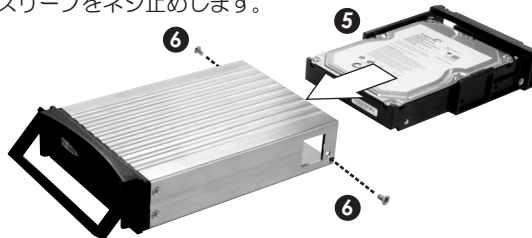


規格外の2.5インチハードディスクやSSDで、ネジ穴が合わずネジ止めしづらい場合は、ハードディスクやSSDを多少動かしネジ穴のずれが少ない側からネジ止めします。

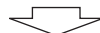


5 HDマウントユニットを元の位置に戻します。

6 スリーブをネジ止めします。

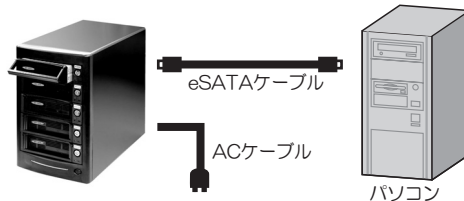


2-3. トレイをケース本体に押し込み、キースイッチをロックしてください。



2-4. eSATAケーブル、ACケーブルを接続してください。

パソコンの電源がONの状態でも接続しても問題ありません。



注意

- eSATAケーブル、ACケーブルは添付のものを使用してください。
- 各ケーブルの接続は、コネクタの向きに注意して確実に接続してください。

3. 本体電源の投入

3-1. 本体の電源スイッチをONにします。

トレイ通電ランプ(緑)

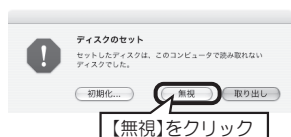


3-2. PC-Linkランプ、PWRランプ、各トレイのトレイ通電ランプが点灯しているか確認してください。

※PC-Linkランプ、PWRランプが点灯しない場合、電源スイッチがONになっているか、接続ケーブルが正しく接続されているか、パソコンの電源がONされているか、もう一度確認してください。
※トレイのキースイッチがロックされていないと、トレイに通電(ハードディスクにアクセス)されません。

電源投入後、「初期化しますか?」などのメッセージが表示された場合

Mac OSの場合、フォーマットされていないハードディスクを認識すると、右記のメッセージ画面が表示されます。初期化は後の手順でおこないます。一旦、【無視】をクリックしてください。



3-3. 使用するモード別に、次の手順へ進んでください。

4. RAIDモードの設定

5. スタンダードモードの設定

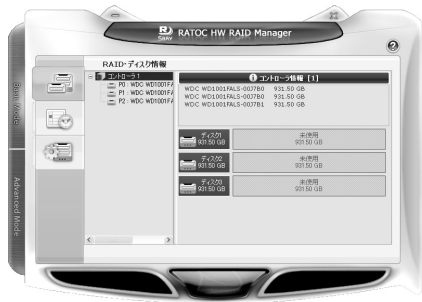
4. RAIDモードの設定

- 4-1. 本体の電源スイッチをONにすると、RAIDマネージャーの画面が表示されます。

Windowsの場合

自動的に、RAIDマネージャーの画面が表示されます。

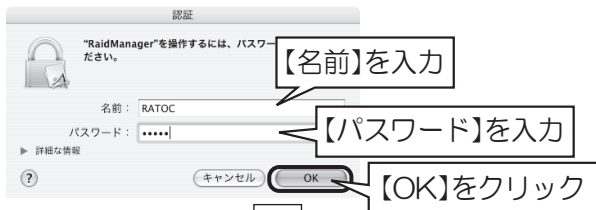
※表示されない場合は、デスクトップのショートカットまたは、【スタート】→【すべてのプログラム】→【RATOC SA-DK5-ESR】→【RAIDマネージャ】を起動します。



Mac OSの場合

- 1 【アプリケーション】→【RATOC HW RAID Manager】フォルダの中の【RaidManager】を起動します。

- 2 RAIDマネージャーは、起動時にパスワード入力が必要です。



- 3 RAIDマネージャーの画面が表示されます。

- 4-2. RAIDマネージャーにてRAIDを構築します。

手順は、RAIDマネージャーのヘルプ【2】導入・基本編：簡単！RAIDモード作成手順】を参照してください。



※Mac OSでヘルプが表示されない場合は、【アプリケーション】→【RATOC HW RAID Manager】→【RATOC RAID Manager.pdf】を開きます。

- 4-3. RAIDマネージャーにてRAIDを構築後、ハードディスクのフォーマットが必要です。

OS標準のディスクの管理にてフォーマットをおこないます。手順は、RAIDマネージャーのヘルプ【2】導入・基本編：フォーマット手順】を参照してください。

- 4-4. RAIDマネージャーはディスクが故障した際、電子メールで通知することができます。

必要な場合は、RAIDマネージャーのヘルプ【2】導入・基本編：電子メール通知設定手順】を参照し設定します。

- 4-5. 以上で、本製品を使用することができます。

6. パソコン使用中のトレイ交換 (RAIDモードの場合) をお読みになった上で、本製品を使用してください。

RAIDディスク異常時の対応

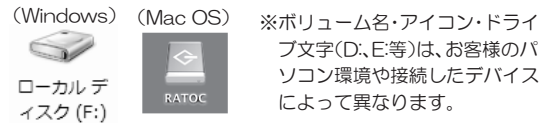
ディスクが故障した際は、故障したディスクのアクセスランプが点灯し、ERRランプは点滅します。故障ディスクは、早急に新しいディスクに交換してください。

手順はRAIDマネージャーのヘルプ【3】RAIDディスク異常時の対応】を参照してください。



5. スタンダードモードの設定

- 5-1. “コンピューター(または“マイ コンピュータ”)、Mac OSでは“デスクトップ”に、新しいデバイスのアイコンが表示されているか確認してください。



上記のアイコンが表示されない場合の対処

未フォーマットのハードディスクを装着された場合は、上記のアイコンは表示されません。まずフォーマットをおこなってください。

【フォーマット方法】

- Windows → Windows標準のディスクユーティリティ「ディスクの管理」を使用します。
- Mac OS → Mac OS標準の「ディスクユーティリティ」を使用します。

- 5-2. 以上で、本製品を使用することができます。スタンダードモードで使用する場合、モードの設定は不要です。

7. パソコン使用中のトレイ交換 (スタンダードモードの場合) をお読みになった上で、本製品を使用してください。

6. パソコン使用中のトレイ交換 (RAIDモードの場合)

ディスク故障時を除き、トレイを交換するには、ケース本体の電源をOFFにする必要があります。

手順はRAIDマネージャーのヘルプ【2】導入・基本編：パソコン使用中のトレイ交換】を参照してください。

7. パソコン使用中のトレイ交換 (スタンダードモードの場合)

パソコンおよびケース本体の電源を落とさずに、トレイの交換が可能です。

警告

交換をおこなう際は、必ず手順に従ってください。異なる手順で無理に交換をおこなうと、ディスクの破損、または記録データが損失する場合があります。

- ご使用のeSATAインターフェイスがホットプラグに対応していない場合、必ずパソコンの電源とケース本体の電源を切ってから、作業をおこなってください。
- ご使用のeSATAインターフェイスにホットプラグ用のソフトが同梱されている場合は、その方法に従ってください。

Windowsの場合

弊社製eSATAインターフェイス製品に添付の「ホットプラグツール」を使用した場合の手順で説明します。

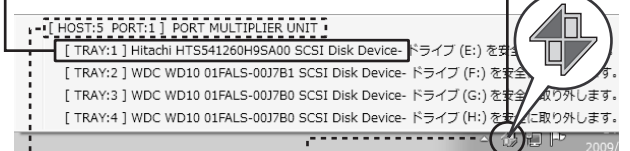
※Windows 7の場合の手順で説明します。

- 1 ホットプラグツールで、安全な取り外しを実行します。

※表示されるドライブ名は、組み込むデバイスにより異なります。

- ① アイコンをクリック

- ② 取り外すドライブを選択 ([TRAY:1]は1段目のトレイ)

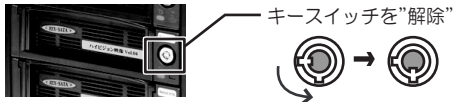


※PORT MULTIPLIER UNITを選択した場合は、全てのドライブが取り外されます。

※Windows 7の場合で、アイコンが見当たらないときは「隠れているインジケータ」を表示しますの▲ボタンをクリックします。

- ② “デバイスが安全に取り外しができます。”のメッセージが表示されます。

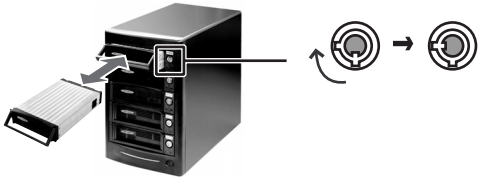
まず、キースイッチを解除します。



次にメッセージ画面の【OK】をクリックします。



- ③ トレイ交換後キースイッチを“ロック”することにより、再びドライブが認識されます。

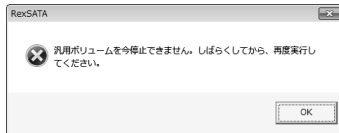


「ハードウェアの安全な取り外し」をおこなったが、エラーが表示されて取り外しできない場合の対処

- アンチウイルス等ドライブを監視するソフトが常駐している場合は、本製品を対象からはずして取り外しをおこなってください。
- ファイルエクスプローラー、ディスクの管理等でドライブが表示されている場合は、そのウィンドウを閉じてから取り外しをおこなってください。
- システム上のディスクキャッシュなどのバッファが残っている場合、取り外しはできません。

汎用ボリュームを今停止できません。と表示された場合の対処

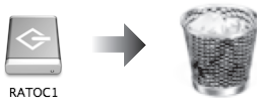
- このメッセージが表示された場合は、デバイスの取り外しはできません。他のアプリケーション、システム等が該当ドライブを使用している可能性があります。しばらく時間が経ってから、もう一度 ① の手順からおこなってください。



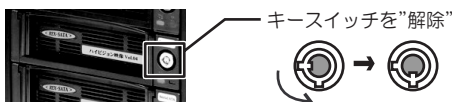
- アンチウイルス等ドライブを監視するソフトが該当ドライブを使用している場合は、ソフトウェアを終了してください。

Mac OSの場合

- ① ドライブのアイコンを選択し、ゴミ箱へ捨ててください。
※表示されるドライブ名・アイコンは、組み込むデバイスにより異なります。



- ② キースイッチを解除した後、トレイ交換をおこなってください。



- ③ トレイ交換後キースイッチを“ロック”することにより、再びドライブが認識されます。



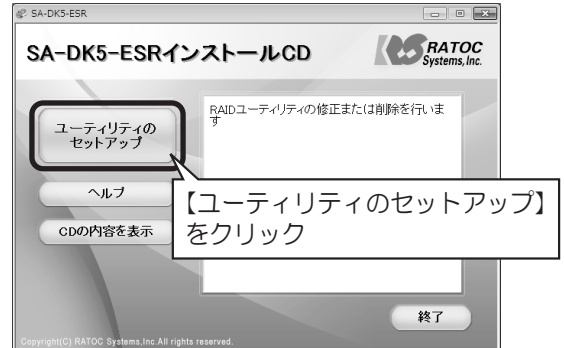
RAIDマネージャーのアンインストール

RAIDマネージャーを削除したい場合は、以下の作業をおこないます。

※本製品をパソコンに取り付けている状態、または取り外している状態のどちらでもアンインストールが可能です。

Windowsの場合

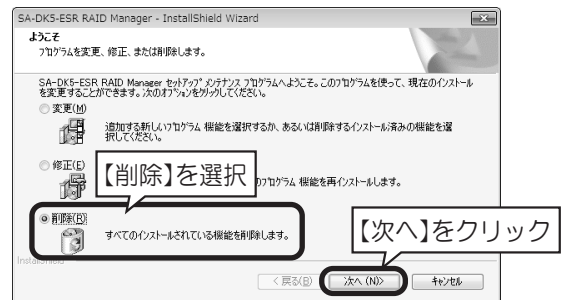
1. 製品添付CDをパソコンのCDドライブに挿入します。
2. メニュー画面が表示されます。



※自動的に表示されない場合は、【コンピューター(またはマイコンピュータ)】の【CDドライブ】を開き、【autorun.exe】をダブルクリックしてください。

※Windows 7/Vistaの場合、“自動再生”画面が表示されたら、【autorun.exeの実行】をクリックしてください。また、“ユーザーアカウント制御”画面が表示されたら、【はい】または【許可】をクリックしてください。

3. 次の画面が表示されます。



4. 確認画面が表示されますので【はい】をクリックしてください。
5. RAIDマネージャーの削除は完了です。
【完了】をクリックしてください。

Mac OSの場合

1. 【アプリケーション】→【RATOC HW RAID Manager】フォルダーの中の【uninstaller】をダブルクリックします。

※削除処理は、すぐに開始されキャンセルできません。



2. RAIDマネージャーの削除は完了です。
【OK】をクリックしてください。

